

### Ⅲ 米国・カナダの行う管理措置

日本向け輸出プログラム

## 日本向け輸出プログラムの概要①

### 日本向け牛肉等の条件

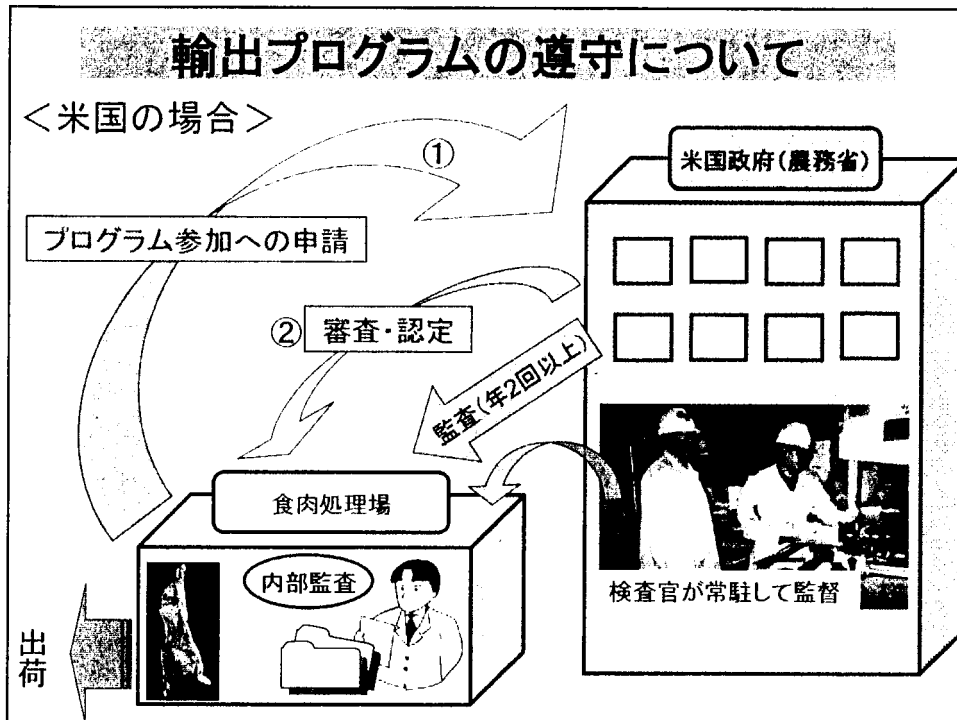
- 特定危険部位(SRM)はあらゆる月齢から除去
- 輸出される牛肉は20か月齢以下と証明される牛由来であること
- 日本向け牛肉が、処理から出荷まで他の牛肉と識別されること。

## 日本向け輸出プログラムの概要②

### 日本向けに輸出可能となる牛肉等

#### カット肉、内臓

※挽肉や肉加工製品(ビーフジャーキー、ハム、ソーセージ等)は日本向け輸出プログラムの対象外



## 輸出プログラムの違反に対する罰則

<米国の場合>

- プログラムに参加する際に虚偽の申請があった場合  
米国連邦刑法に基づく罰則の適用  
(5年以下の懲役若しくは1万ドル以下の罰金、  
又はこれらの併科)
- プログラムの実施に当たって違反があった場合  
改善指示、輸出資格の停止・取り消し、製品の回収  
等の制裁が科される。

## SRM除去 (と畜場における措置)

### SRMの範囲、除去

#### 全月齢の牛からのSRM除去

SRMの範囲：全月齢の牛の頭部（舌、頬肉を除き、扁桃含む）、  
せき髄、回腸遠位部（盲腸との接続部分から2メートル）、  
せき柱（胸椎横突起、腰椎横突起、仙骨翼、尾椎除く）

#### HACCP計画、SSOPに基づき除去等を実施

HACCP: 危害分析重要管理点方式  
SSOP: 衛生標準作業手順書

- SRM除去、分離、廃棄のための手順を作成、実施
- 実施及び監視に関する日報を記録
- 各施設が有する管理計画は、米国・カナダ政府が検証

## 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例①

生体受入

トレーラーで牛  
が施設に搬入

肉質改善等のための飼料投与  
11月7日、11月7日、11月7日  
11月7日、11月7日、11月7日



政府機関の検査員による  
生体検査



目視検査

## 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例②

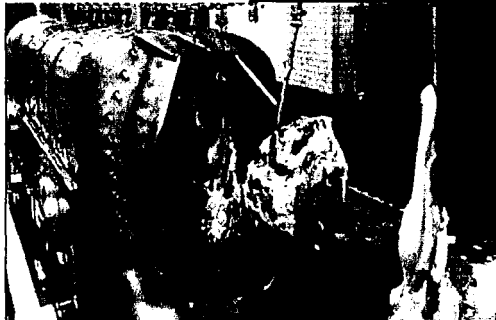
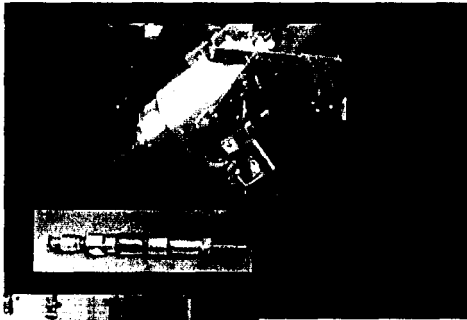
とさつ（スタンニング）

放 血

剥 皮

頭部除去

内臓摘出



### 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例③

背割り



台を下降させながら背割り

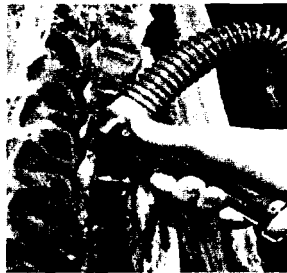


1頭毎に背割り鋸を洗浄

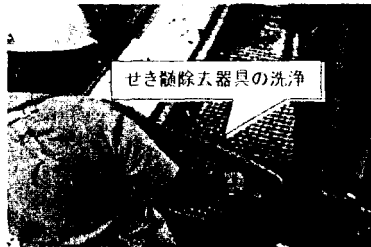


### 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例④

せき髄除去



器具を用いてせき髄除去



せき髄除去器具の洗浄



(参考) ※ナイフの洗浄消毒(1本のナイフを使用中にもう1本を洗浄消毒できる)

高圧水ジェットシステムを採用

### 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例⑤

洗浄

高圧洗浄



蒸気噴霧式吸引機による枝肉の洗浄



### 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例⑥

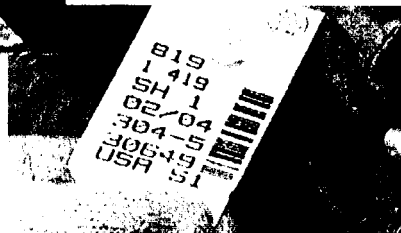
枝肉の識別

コンピューターによる管理



タグの貼り付け作業

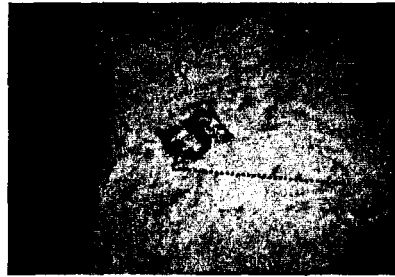
貼り付けられたタグ



## 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例⑦

冷却・保管

格付け  
(デモンストレーション)



通常の格付け工程で対日輸出用に選別された枝肉【Jマークがスタンプされる】

対日輸出専用作業ラインに移し、改めてA40以下であることを確認



対日輸出用として最終判定された枝肉【Jマークに重ねてUSDA(米国農務省)マークがスタンプされる】

## 米国・カナダ産牛肉処理施設の処理フロー例⑧

冷却・保管  
(つづき)



レーンを区分して保管。  
と体を移動させるには解錠する必要  
(写真は30ヶ月齢超のもの)

食品衛生法(第11条第1項)に基づき、  
(1)7-11-17-18(2)に基づき、  
取扱い(注)を要する。

細切



除去した脊柱等はベルトコンベアで指定場所に搬出

脊柱の除去

包装

出荷



## 月齡確認

### 月齡判別方法 (20ヶ月齡以下の確認)

米 国	カナダ	日 本
○生産記録 又は ○生理学的成熟度 (A40以下)	○個体識別 制度	○個体識別 制度

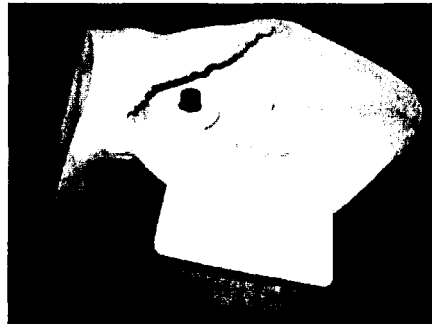
## 牛の個体識別制度

	米 国	カナダ	日 本
制度	任意	義務	義務
施行年	・2004年導入 ・2009年1月を目 処に完成予定	2002年7月	2003年12月
情報	個体識別番号・出生農場		
		生年月日 (2005年から任 意で実施)	生年月日等



## カナダの個体識別

- ・89年:カナダ牛個体識別管理局(CCIA)が設立
- ・00年4月:ID法令公布
- ・01年1月:ID制度開始
- ・02年7月:ID制度完全実施
- ・05年1月:RFID ( Radio Frequency ID :無線読取り方式ID)へ本格的に移行



良畜安全安心生産者登録  
 5月17日(17) 福岡県  
 県庁議事録(17)

## 生産記録による月齢確認 個体毎の月齢証明

Tag No.	Sex	Age	Birth Date	Sex	Age	Birth Date
105	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
106	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
107	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
108	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
109	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
110	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
111	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
112	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
113	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
114	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
115	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
116	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
117	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
118	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
119	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
120	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
121	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
122	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
123	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
124	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
125	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
126	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
127	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
128	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
129	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
130	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
131	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
132	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
133	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
134	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
135	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
136	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
137	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
138	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
139	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
140	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
141	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
142	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
143	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
144	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
145	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
146	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
147	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
148	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
149	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
150	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
151	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
152	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
153	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
154	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
155	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
156	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
157	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
158	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
159	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
160	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
161	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
162	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
163	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
164	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
165	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
166	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
167	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
168	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
169	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
170	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
171	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
172	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
173	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
174	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
175	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
176	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
177	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
178	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
179	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04
180	M	1	24-Mar-04	M	1	24-Mar-04

### 生産農家の出生記録台帳

子牛の生産農場において、  
 個体ごとに生年月日などの  
 記録を記載した台帳を保存

20-MAR-04  
 30-Mar-04  
 生年月日

## 生産記録による月齢確認 群毎の月齢証明

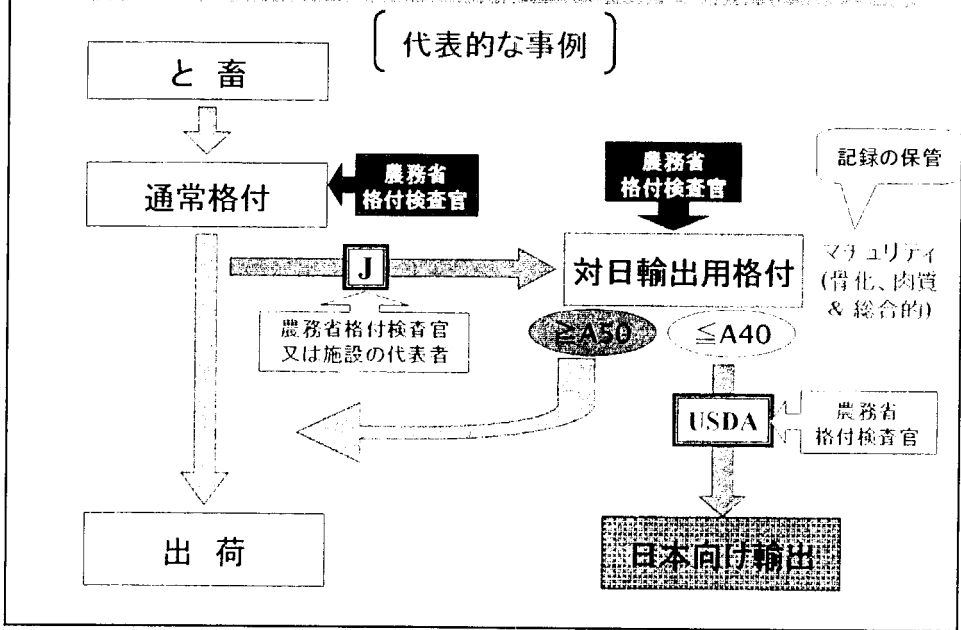
**生産農家の群毎の管理台帳**

同じシーズンに生まれた牛を群で管理(群で最初に牛が生まれた日を群全体の誕生日とする)

群の最初の誕生日から最後の誕生日

Age of Oldest	Birth Period
12	02/01/04 thru 04/15/04

## 生理学的成熟度による月齢判別の流れ



## 米国農務省の格付官による検証

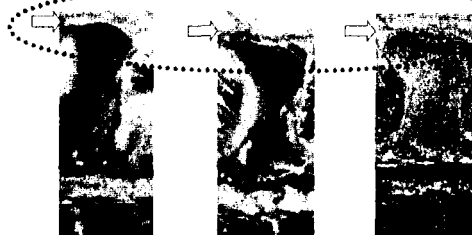


## 腰椎の評価(骨化について)



(←頭部)

棘突起上部の軟骨



軟骨だけ  
白色の部分  
が軟骨

一部骨化  
赤色の部分  
が骨化

ほぼ骨化  
白色の軟骨  
がない

- 骨化とは、  
軟骨(軟らかく、白色)→硬骨(硬い骨)
- 腰椎の場合、棘突起上部の軟骨が  
評価決定ポイント

(若い) 骨化の進行 (高齢)

## 米国・カナダ側の管理措置

### 米国・カナダの飼料規制

		給与飼料(米国・カナダ)			給与飼料(日本)		
		牛	豚	鶏	牛	豚	鶏
肉 骨 粉	牛	×	○→×	○→×	×	×	×
	豚	○	○	○	×	○	○
	鶏	○	○	○	×	○	○

注：米国は30ヶ月齢以上の牛由来の脳、脊髄等の高リスク原料を、カナダはSRMを給与飼料から排除することを検討中。

#### 交差汚染対策

米・カナダ：クリーニング方式

日本：クリーニング方式→ライン分離 2005.4

## BSE検査の目的

米国・カナダ	日本
<p>○サーベイランス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸潤状況の把握</li> <li>・対策の効果の確認</li> </ul>	<p>○サーベイランス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸潤状況の把握</li> <li>・対策の効果の確認</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>死亡牛の検査等 (と畜牛の検査)</b></p> <p>○食肉の安全の確保</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>と畜牛の検査</b></p>

## BSE検査方法

	米国	カナダ	日本
一次検査	エライザ法	エライザ法	エライザ法
確定検査	免疫組織化学的検査 ウエスタンブロット法	免疫組織化学的検査 ウエスタンブロット法	免疫組織化学的検査 ウエスタンブロット法